山口市立徳佐小学校　校長室だより　　ショウ　ガッ　コウ　（笑顔で　楽しく　考える）

徳佐笑楽考

ＮＯ12
令和3年11月10日
文責　山田英二

１１月は教育相談月間です！

最近テレビで「二月の勝者」というドラマを見始めました。中学受験の話で、最初は、主人公の塾講師の発する言葉がストレートで、「ちょっとそれは…」と思う場面もありましたが、ドラマの終盤や回を重ねる毎に、受験ということを通して悩みを抱える今の子どもたちや、子どもたちを取り巻く現代社会の環境の厳しさ、学校・家族のあり方など、様々なことを考えさせられる内容に引き込まれました。また、ドラマを見ながら、今の子どもたちは、私たちが子どもの頃、また、私が教員になった頃の子どもと比べても様々な面でストレスを抱えているのだなと改めて思うとともに、一人ひとりの子どもの置かれた状況をしっかりと見極めながら適切な対応をしている主人公の言葉には、教育者としてはっとさせられることもあります。同時に今のストレス社会に押しつぶされないレジリエンス（回復力・ストレス耐性力）を育むことも大切なことだと改めて思いました…。

さて１１月は、徳佐小では教育相談月間です。このドラマではないですが、教育相談は子どもと対話をしながら心の悩みや困りごとなどの SOS を早期に発見し、支援を行うための取組です。徳佐小では、児童と先生が１対１で話をする時間を、年間３回、各学期１回ずつ設けています。１学期と３学期は担任の先生と、２学期は全職員の中からそれぞれの児童が希望した先生と話をします。話題は、がんばっていることや困っていること、気になっていることなど様々です。困っていることなどの相談があった場合には、継続して相談を行っていきます。もちろん、この期間だけでなく、気になる様子が見られれば担任はもちろんのこと、養護教諭等とも連携しながら支援します。今回、私も数名の児童と面談をしました。子どもと話してみると意外な一面や様々な思いや考えをもっていること知ることができ有意義な時間でした。やはり、しっかり子どもと向き合いながら話すことはとても大切なことだと思いました。各ご家庭におかれましても、日々何かと慌ただしい毎日だとは思いますが、子どもたちとしっかりコミュニケーションやスキンシップをとっていただけたらと思います。それが、子どもたちの心の栄養になり、明日に向かう力、自己肯定感の向上、レジリエンスの育成にもつながります。子どもたちが巣立ちすっかり静かになってしまった我が家では、様々な問題を持ち込んできては日々格闘し、悩まされたあの頃が今となっては懐かしく、もっと子どもたちといっぱい話をしておけばよかったと思う毎日です…。子どもと一緒に暮らせる時間は過ぎてしまえば短いものです……。

最後に、お子さんの様子で気になることがある場合には、遠慮なく学校にお知らせください。担任・養護教諭・管理職その他どの職員に相談いただいても結構です。連絡帳・電話・手紙など、どのような方法で相談されても構いません。ご家庭と学校とが一体となって、子どもたちの健やかな成長のために取り組んでいきたいと思います。

＜＜ご案内＞＞

□16 日（火）人権参観日（5 校時 13:25～）・講演会　　□25 日（木）持久走大会 9:30～

★22 日（月）冬の遊び集会9:20～11:10

各学級で子どもたちが考えた遊びコーナーを一緒に楽しんでみませんか。授業参観の時とは違った子どもたちの様子を見ることができます。何かと学校行事の多い 11 月ですが、ご来校をお待ちしております。